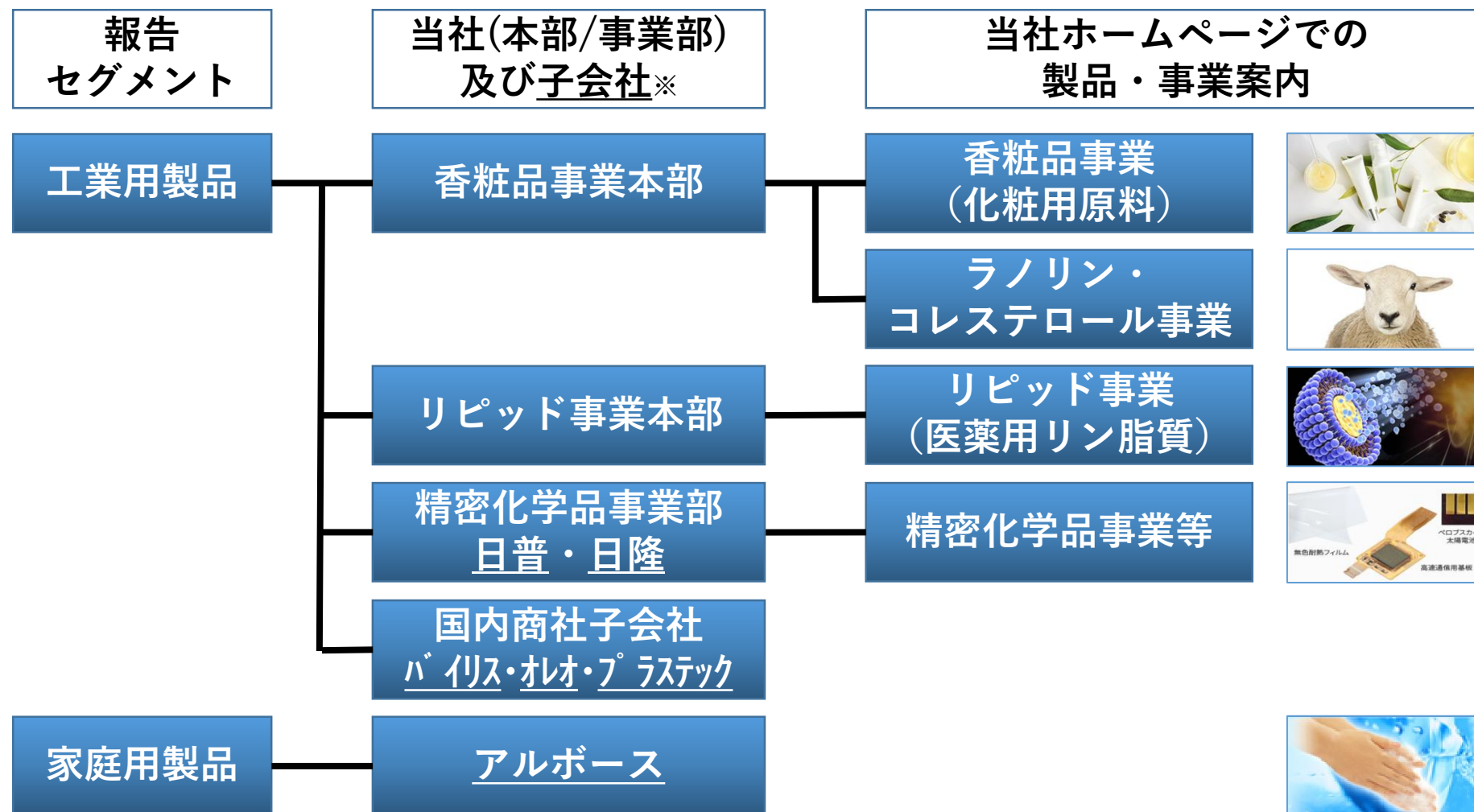


2022年3月期（2021年度） 第2四半期 決算説明資料

2021年10月28日
日本精化株式会社



1. 日本精化グループの事業領域



事業内容の詳細は
当社ホームページ
(<https://www.nipponseika.co.jp/business/>) を
ご確認ください。

※子会社名称

日普：日普精化有限公司（中国）
日隆：日隆精化国際股份有限公司（台湾）

バイリス：日精バイリス株式会社
オレオ：オレオトレード・インターナショナル株式会社
プラスチック：日精プラスチック株式会社
アルボース：株式会社アルボース



2. 2021年度第2四半期連結決算概要

- ・前年同期比では増収増益継続、各利益で過去最高更新
- ・直近予想比では売上高・各利益いずれも達成

(単位:百万円)	2020年度 上期	2021年度 上期	前年同期比 増減率(%)	直近予想 (2021年7月29日公表)	
	実績金額	実績金額		金額	予想比 増減率(%)
売上高	14,400	16,218	12.6%	16,000	1.4%
営業利益	1,880	2,387	26.9%	2,250	6.1%
営業利益率(%)	13.1%	14.7%		14.1%	
経常利益	1,994	2,517	26.2%	2,400	4.9%
親会社株主に帰属する 当期純利益	1,315	1,698	29.1%	1,570	8.2%
1株当たり当期純利益 (円)	55.40	71.54		66.11	



2. 2021年度第2四半期連結決算概要

- セグメント別では、家庭用製品が前年同期比減少するも、工業用製品が大幅回復

報告セグメント (単位:百万円)		2020年度 上期	2021年度 上期	前年同期比増減	
				金額	率
工業用製品	売上高	9,266	11,446	2,180	23.5%
	営業利益	1,144	1,794	649	56.7%
	営業利益率	12.3%	15.7%		
家庭用製品	売上高	4,613	4,262	△ 351	△ 7.6%
	営業利益	628	443	△ 185	△ 29.5%
	営業利益率	13.6%	10.4%		
その他※	売上高	521	511	△ 10	△ 2.0%
	営業利益	109	151	42	39.0%
	営業利益率	20.9%	29.6%		

※その他：不動産事業及び薬理・安全性試験の受託を行う事業



2. 2021年度第2四半期連結決算概要

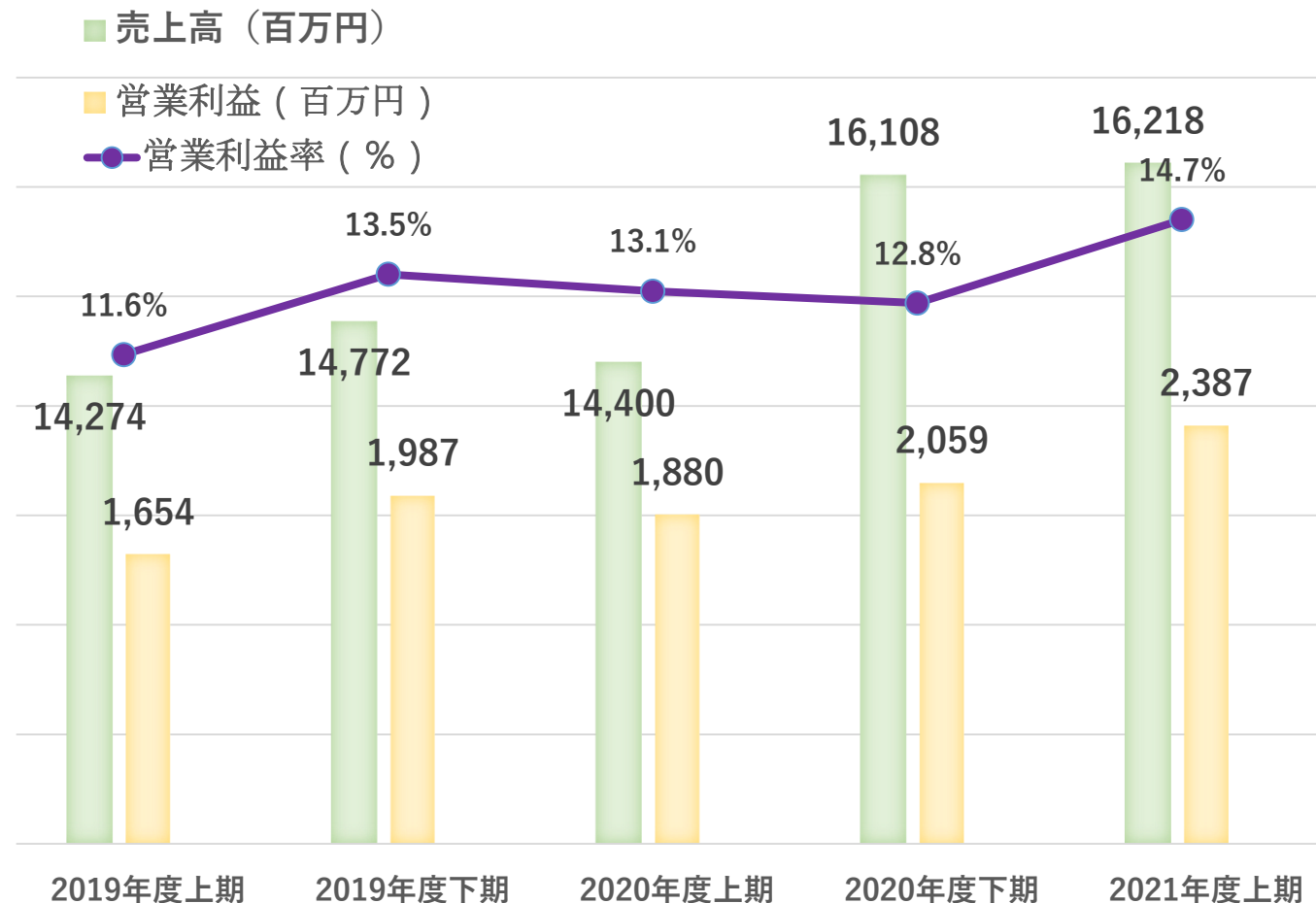
・主要事業区分ごとの売上高の状況

セグメント	主要事業	状況 (前年同期比)	概要
工業用 製品	香粧品事業 (化粧用原料)	+21%	中国化粧品市場の回復や、国内化粧品市場で在庫調整が一巡、及び顧客の戦略製品に当社品が採用
	ラノリン・ コレステロール事業	+41%	中国・米国の景気回復に伴い海外向け販売が大幅に増加
	リピッド事業 (医薬用リン脂質)	+19%	海外向け拡販が計画通りに進捗
	精密化学品事業等	+24%	汎用工業用原料は、第1四半期での半導体・自動車などの市況改善を受けて関連用途の販売が回復
家庭用 製品	アルボース	△8%	新型コロナウイルス感染症対策製品市場は拡大も新規業者参入あり、品薄状態解消により販売減少



2. 2021年度第2四半期連結決算概要

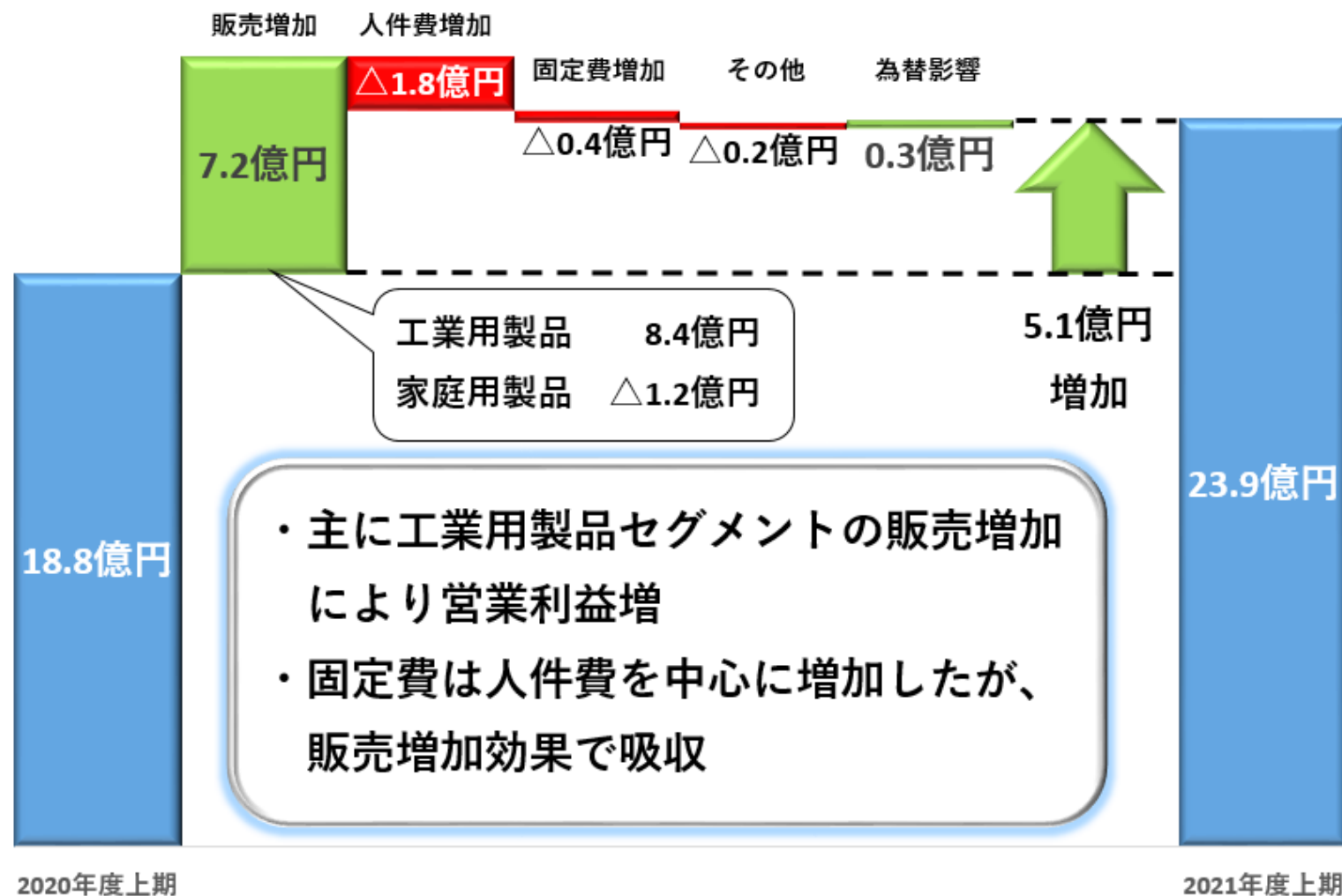
・売上高、営業利益及び営業利益率の推移





2. 2021年度第2四半期連結決算概要

・営業利益増減分析（対前年同期比）





3. 2021年度通期連結業績予想

- ・売上高・各利益共に前年度比増加、過去最高更新見通し
- ・直近予想（2021年7月29日公表）から売上高・各利益上方修正

(単位:百万円)	2020年度	2021年度	前年度比 増減率(%)
	実績金額	予想金額	
売上高	30,509	32,500	6.5%
営業利益	3,939	4,500	14.2%
営業利益率(%)	12.9%	13.8%	
経常利益	4,154	4,800	15.6%
親会社株主に帰属する 当期純利益	2,758	3,200	16.0%
1株当たり当期純利益 (円)	116.17	134.75	

※前提レート

1米ドル=110円

1ユーロ=130円

(両通貨共
期初比+5円)



3. 2021年度通期連結業績予想

- ・ 家庭用製品は前年度比減も、工業用製品の回復傾向が続く

報告セグメント (単位:百万円)		2020年度	2021年度	前年度比増減	
				金額	率
工業用製品	売上高	19,306	22,300	2,994	15.5%
	営業利益	2,293	3,250	957	41.7%
	営業利益率	11.9%	14.6%		
家庭用製品	売上高	10,070	9,000	△ 1,070	△ 10.6%
	営業利益	1,423	950	△ 473	△ 33.3%
	営業利益率	14.1%	10.6%		
その他※	売上高	1,134	1,200	66	5.8%
	営業利益	223	300	77	34.5%
	営業利益率	19.7%	25.0%		

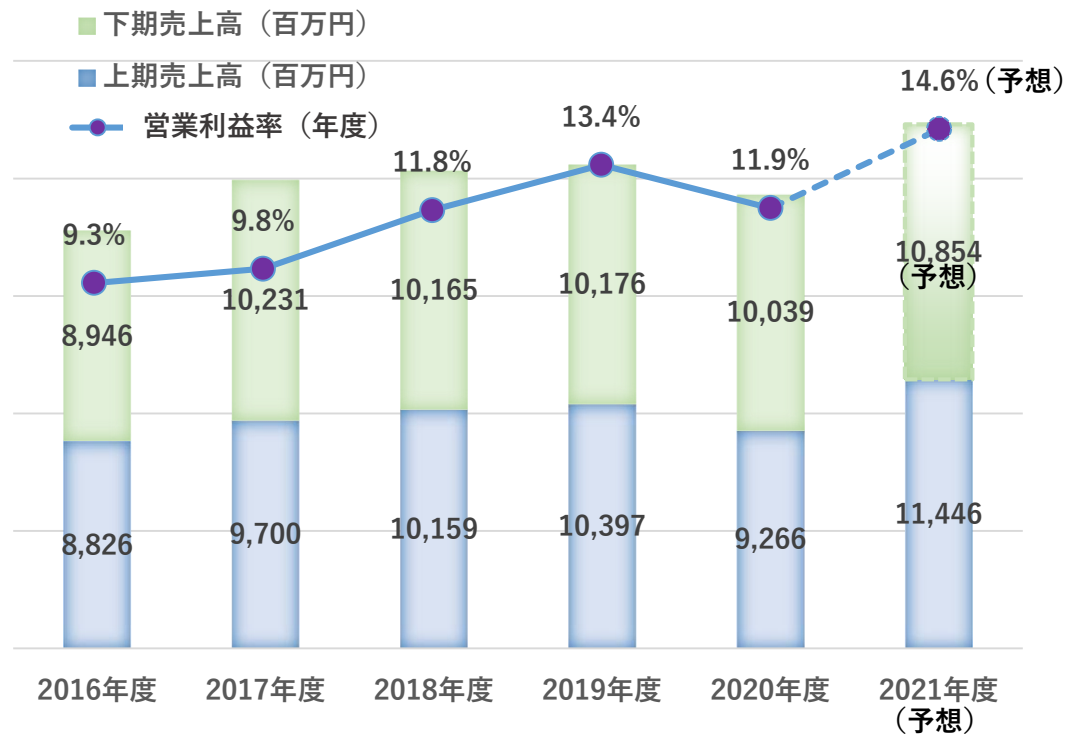
※その他：不動産事業及び薬理・安全性試験の受託を行う事業



3. 2021年度通期連結業績予想

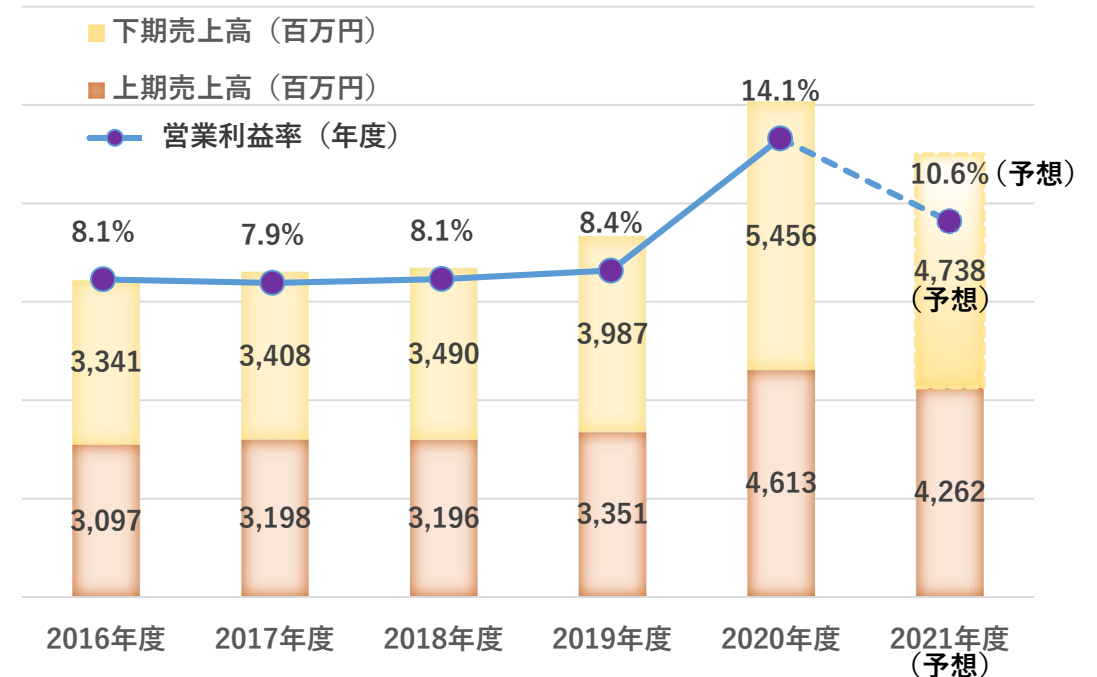
・セグメント別推移

工業用製品



- ・ 上期は売上高が過去最高水準
- ・ 下期も堅調、利益率も高水準で推移

家庭用製品

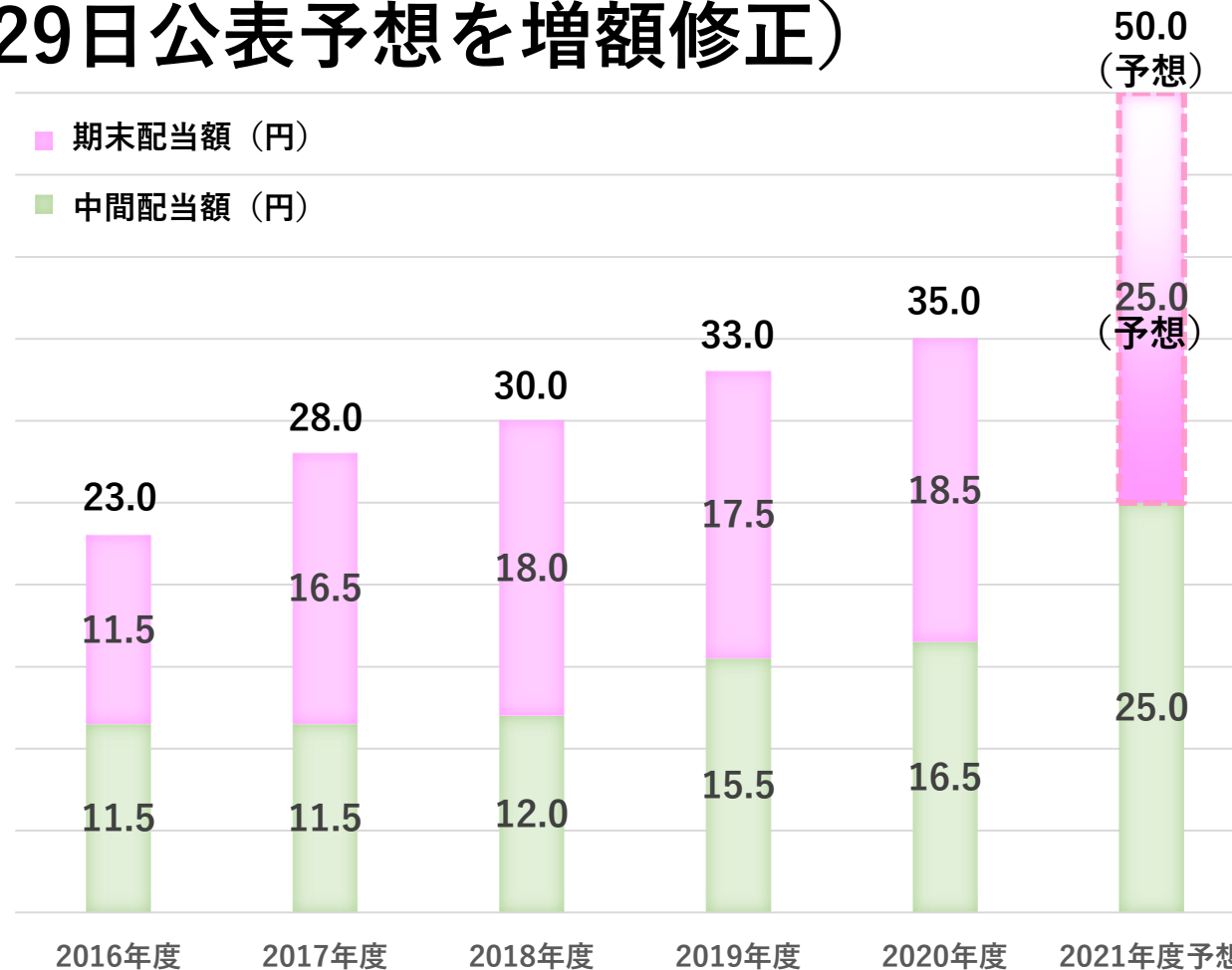


- ・ 上期売上高は前期比減も、2019年度比は増
- ・ 通期でも売上高・利益率増加傾向は維持



3. 2021年度通期連結業績予想

- 一株配当額推移：好調な業績を反映し増配を継続
(2021年7月29日公表予想を増額修正)





4. 2021年度トピックス（長期ビジョン）

・長期ビジョン（NFC VISION2030）の策定

NFC VISION 2030は日本精化の将来像（ありたい姿）です。日本精化を取り巻く全ての人々に、より多くの笑顔をお届けするために、全社一丸となって7つのゴールに向かって歩み始めました。（7つのゴールは下図）



「キレイ」のチカラで みんなを 笑顔 に



「キレイ」のチカラでみんなを笑顔に

- ・ サステナブルなモノづくりで、地球の「キレイ」をお手伝い
- ・ コンプライアンスと安全・安心で、社会の「キレイ」をお手伝い
- ・ 多様性を活かしたイノベーションで、未来の「キレイ」をお手伝い



4. 2021年度トピックス（東証市場選択）

- ・ 東京証券取引所新市場区分における「プライム」の選択

2021年7月 新市場区分において「プライム」の上場維持基準適合を確認

9月 当社取締役会にて「プライム市場」選択申請を決議

10月 申請手続き完了

（2022年4月 市場区分見直し実施予定）

⇒コーポレートガバナンス及び内部管理体制の更なる強化に
積極的に取り組む



5. ご参考：会社概要

商号	日本精化株式会社
証券コード、業種	4362（東証一部）、化学
設立	1918年 2 月
本社所在地	大阪市中央区
社長	矢野 浩史
資本金	59億33百万円
従業員数（2021年 3 月末）	671名（連結）
売上高（2021年 3 月期）	305億円（連結）
子会社数（2021年 3 月末）	7 社(国内 5 社、海外 2 社)



5. ご参考：会社沿革及び主な事業領域

※100周年記念コンテンツ

(<https://www.nipponseika.co.jp/company/100th/>) もご覧ください。



日本樟脳
株式会社
設立

樟脳・
家庭品

油脂・
精密化学品



脂肪酸クロライド
脂肪酸アマイド

化粧用
原料

エセラン

アルブチン

N S C

ピコレット

精密化学品への進出

日本精化に
社名変更

アルボース
を子会社化

吉川製油
を買収
(のち合併)

医薬用
リン脂質

化粧用リン脂質

高付加価値品へシフト
東証一部
上場

ラノリン・コ
レステロール

創立
100周年



エコラちゃん、ラノちゃん
(日本精化ラノリンイメージキャラクター)

アルボース





- 本資料に記載している業績予想等に関する記述は各資料の作成時点において当社が入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、当社としてその実現を約束する趣旨のものではありません。
- 実際の業績は、各種要因により、これらの業績予想とは異なる結果になり得ることをご承知おきください。